

ずっと好きだったあなたへ

齊木麻衣子
福島県・一五・高校生

手紙、前はよく書いてたのにね。ひさしぶりに書くから、少してれるよ。

手紙ね、書けなかったの。本当は会いたくて何枚も書いたのに、全部失敗した。買い物に行くたびに、新しい便せんが増えた。

あなたには、大事なものがいっぱいあったから、それを守るのに一生懸命だったよね。全部壊したら、私だけを大事にしてくれたかな。

次に会えたら、ふってね。あなたのことをあきらめさせてね。もう電車では通わない。駅で会っても、声かけないからね。

だれかの代用品は嫌なの。代用品なのかどうかは知らないけど、そうとしか思えない時がある。でも、それでも、うれしかったから。だれかの代わりでも、一緒にいられれば幸せだったから。あなたがいたから、好きなものがいっぱいできた。一緒に見た景色も、全部。

だから、本当は忘れたいのかな。全部を。

どーせなら、一九九九年に本当に世界が終わればいい。本当に終わるってわかったら、全部言えたのに。

側に、いたかった。あなたが悲しい時、あなたがうれしい時、いつだって側にいたかったよ。前みたいに。

側にいてよ。私が泣いてる時、抱きしめてくれたじゃない。泣いてるのに。こんなに泣いてるのに。あなたがいないから。

今、あなたの大事なものは、あの時よりも増えたかな。少しは減らした方がいいよ。あの人が哀しむでしょ。私みたいに。

いつかまた、会えたら、その時は私をふってね。私はがんばって、あなたに会えないようにするからさ。明日も、明後日も、ずっと駅には行かない。あなたは会えない間は、好きでいいよね？

あなたには、もう会えない。

だから、ずっと、ずっと、好きでもいいよね。